

## 平成 20 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	ダイズ紫斑病の効率的な薬剤防除体系	
[要約] アミスター20フロアブルは、ダイズ紫斑病に対して効果が高く、1回散布での防除が可能である。その他の薬剤は、1回散布では効果が不十分な場合があるので防除適期である開花20～40日後（若莢期～子実肥大期）の範囲内で他剤との組み合わせによる2回散布が望ましい。1回目散布と2回目散布の散布間隔は10日程度とする。				
キーワード	ダイズ	紫斑病		環境部 病理昆虫研究室

### 1 背景とねらい

ダイズ紫斑病の防除には、効果の優れるチオファネートメチル剤（商品名：トップジン M 水和剤等）が長年使用されてきたが、近年、本剤に耐性を示す紫斑病菌が広く認められ、防除効果の低下が問題となっている。そこで、チオファネートメチル代替剤の紫斑病防除効果を明らかにするとともに、効率的な薬剤防除体系について検討する。

### 2 成果の内容

(1) チオファネートメチル代替剤のダイズ紫斑病に対する防除効果と薬剤防除体系は表1の通りである（図1、図2、図3）。

表1 チオファネートメチル代替剤のダイズ紫斑病に対する効果と薬剤防除体系

種類名 (商品名)	希釈倍数 ・使用量	紫斑病に 対する効果	薬剤防除体系
アソキシストロピン水和剤 (アミスター20フロアブル)	2,000～3,000倍		1回散布で十分な効果が期待できる。
イミベンコナゾール水和剤 (マネージDF)	3,000倍		
シメコナゾール水和剤 (サンリット水和剤)	1,000～2,000倍		
銅水和剤 (Zボルドー)	500倍		
イミノグタジンアルベシル酸塩水和剤 (ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)	1,000倍		他剤との組み合わせによる2回散布が望ましい。
イミベンコナゾール粉剤 (マネージ粉剤DL)	3～4kg/10a		1回目散布と2回目散布の散布間隔は10日程度とする。
銅粉剤 (Zボルドー粉剤DL)	3kg/10a		
銅粉剤 (撒粉ボルドー粉剤DL)	4kg/10a		
MEP・イミノグタジンアルベシル酸塩粉剤 (スミチオンベルコート粉剤DL)	3kg/10a		
MEP・TPN粉剤 (スミチオンダコニール粉剤DL)	3～4kg/10a		

(2) チオファネートメチル代替剤のダイズ紫斑病に対する防除適期は概ね開花 20～40 日後（若莢期～子実肥大期）である（図1、図2）。

### 3 成果活用上の留意事項

- (1) アミスター20 フロアブル（ストロビルリン系薬剤）は、耐性菌の発生リスクが高いので、2～3年に1回の使用にとどめること。
- (2) 2回散布体系の場合、耐性菌の発生を防ぐため、1回目に用いる薬剤と2回目に用いる薬剤は同一薬剤や同系薬剤を避ける。
- (3) マネージ剤、サンリット水和剤は同系(DMI剤)薬剤なので連用しない。

### 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県下全域
- (2) 期待する活用効果 本成果により、ダイズ紫斑病の効率的な防除が可能になる。

### 5 当該事項に係る試験研究課題

(402)新農薬の効果検定と防除基準作成(H9～22、民間委託)

### 6 研究担当者

岩館 康哉

### 7 参考資料・文献

- (1) 社団法人 日本植物防疫協会(平成7年～19年)CD-ROM版委託試験成績集

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

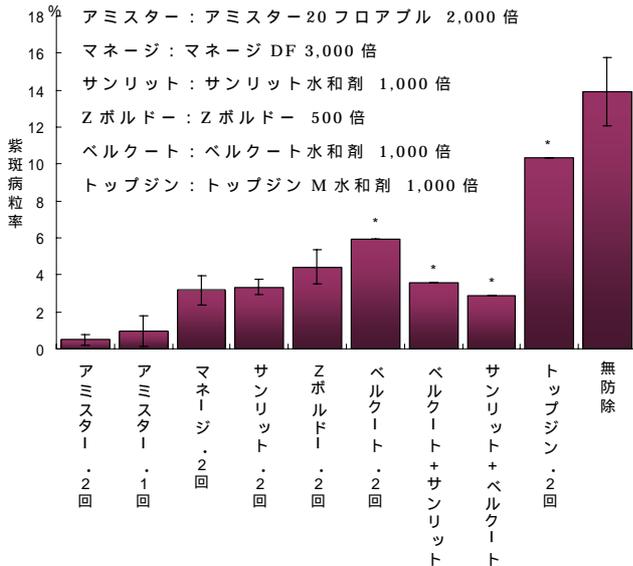


図1 各種薬剤のダイズ紫斑病に対する防除効果(2007)

1回目散布：開花 23 日後、2 回目散布：開花 31 日後  
 アミスター1 回散布：開花 23 日後に散布

\* 反復無し（他の試験区は 3 反復で実施）, エラーバー：SD

摘要) アミスター20 フロアブルは効果が高く 1 回散布でも十分な効果が期待できる。

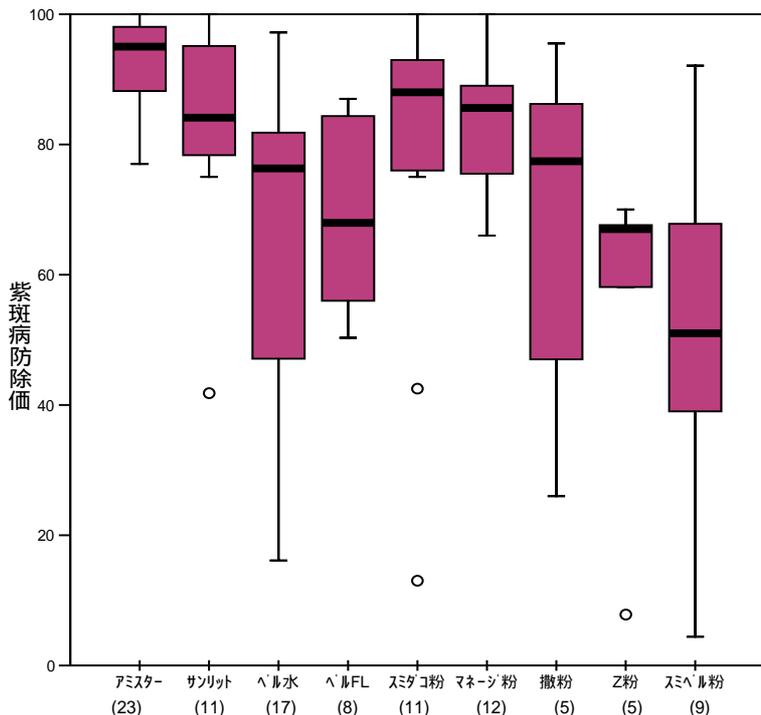


図3 各種薬剤のダイズ紫斑病に対する防除効果

参考資料・文献（1）をもとに作図、平成 7～19 年、日本植物防疫協会

ダイズ紫斑病の成績について、薬剤散布回数が 1-2 回【散布時期は開花終期～開花 40 日後程度】の試験データをもとに作図した。なお、紫斑病極少発生等により試験不成立と判断した事例や、試験例数が 4 例以下の薬剤は除外した。薬剤名下段のカッコ内は試験例数を示す。

\* 防除価とは、無防除区における被害を 100 とした場合の薬剤散布区の防除効果を示し、以下の式から算出する。防除価 = 100 - (薬剤散布区の被害 / 無防除区の被害) × 100

摘要) アミスター20 フロアブルは、防除効果が安定して高い。

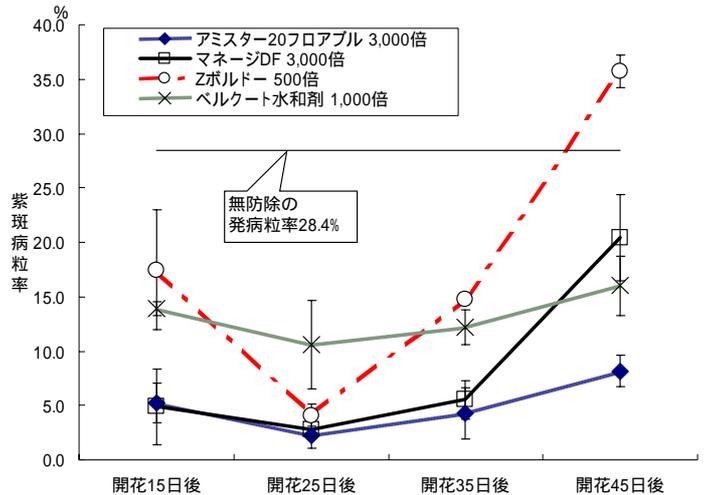


図2 各種薬剤の 1 回散布における散布時期別の防除効果(2008)

（試験は 3 反復で実施）, エラーバー：SD

摘要) 防除適期は概ね開花 20～40 日後（若莢期～子実肥大期）と考えられる。アミスター20 フロアブル以外の薬剤は、2 回散布が望ましい。

アミスター：アミスター20 フロアブル 2,000 倍～3,000 倍  
 サンリット：サンリット水和剤 1,000 倍～2,000 倍  
 ベル水：ベルコート水和剤 1,000 倍  
 ベル FL：ベルコートフロアブル 1,000 倍  
 スミダコ粉：スミチオンダコニール粉剤 DL 3～4kg/10a  
 マネージ粉：マネージ粉剤 DL 3～4kg/10a  
 撒粉：撒粉ボルドー粉剤 DL 4kg/10a  
 Z 粉：Z ボルドー粉剤 DL 3kg/10a  
 スミベル粉：スミチオンベルコート粉剤 DL 3kg/10a

### 箱ひげ図の説明

中央値, 4 分位および外れ値に基づく要約図。箱は 4 分位数間の範囲であり、箱にはデータの値の 50% が含まれる。箱から出る線(ひげ)は、外れ値を除いた最大値または最小値に向かって延びる。

	外れ値	箱の上端または下端から 1.5 倍よりも大きい値
	ひげ	箱の上端または下端から 1.5 倍までの距離にあるデータ
	箱中の横線	中央値